



Chitose Institute of Science and Technology

公立千歳科学技術大学報

PUBLICITY PAPERS

2020 7/1

Volume

51

公立大学の一年を経過して。

- 3P | トピックス
第1回連携ネットワーク会議を開催
- 4P | 研究・学生活動
2019年度
部・サークル活動実績
- 5P | 就職キャリア支援
2019年度 卒業者の進路状況
- 6P | 教育連携・研究支援/コラム
企業訪問による
連携活動について

公立大学の 一年を経過して

公立大学法人
公立千歳科学技術大学 理事長・学長

川瀬 正明



最初に、保護者の皆様や同窓生を含む本学関係者の皆様が、新型コロナウイルス感染症への対応で大変な日々を送られていることにお見舞いを申し上げ、一日も早く平常に戻るよう心から願う次第です。

さて、本学は2019年4月に93番目の公立大学としてリスタートしました。

この春で1年になりましたが、この時期にコロナウイルス感染症が急速に蔓延し、公立大学として初の卒業式、2回目の入学式中止せざるを得ない状況に至りました。その点を除いて、公立化1年のスタートを順調に踏み出せたと考えています。

公立化にあたって本学は3つの改革を約束しました。それは「経営改革」、「教育改革」、「地域貢献の一層の推進」です。

「経営改革」では千歳市からの運営費交付金により、学生が負担する授業料は私学時代に比べておよそ半額になりました。入試では全国から優秀な受験者の応募があり、240人の定員に対して今春は262人の入学生を迎え、計画より1年早く学部の収容定員(960人)を満たすことができました。

「教育改革」では文部科学省の補助事業である、「大学教育再生加速プログラム」が昨年度で完了し、その成果はカリキュラム体系の再構築等、全学的授業改善に反映しています。残念ながらコロナウイルス感染症により、授業形態を大幅に変更することを余儀なくされていますが、本学のe-ラーニングシステムの実績をふまえて、他大学に先駆けて早期に遠隔講義を立ち上げることが出来ました。

「地域貢献」に関しては新たに発足した地域連携センターの体制と活動が本格化し、市内の関係機関に参加いただいて「地域連携ネットワーク」を発足することが出来ました。こちらも体制、枠組みが出来たところで活動の制限を余儀なくされていますが、市民との連携の場であるオープンサイエンスパーク千歳を昨年度は4回開催し、最近では、登校できない市内の子ども達に、学生ボランティアが遠隔による学習支援を実施するなど、本学の特徴を生かした貢献を行っています。

コロナウイルス感染症の影響で5月末現在、講義はすべてonline で実施しています。学生の多くが経済的な不安を抱える中、本学独自の施策として、早い段階で学生のonline 講義受講の環境整備に努め、Wifi機器の貸し出しや、5月末には全学生を対象にした支援金の給付を決定したところです。

しばらくはコロナウイルス感染症への対策を続けることとなりますが、その中でも本学が有する、これまでの蓄積やノウハウを活かした教育や地域貢献を実施して参ります。さらに2022年の完成に向けた新棟の基本設計も終え、施設面も含めて着実に歩みを進めておりますので、今後ともご理解、ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった主な行事

■2020/2/14「英語スピーチコンテスト」中止 ■2020/2/29「eカレッジ表彰式」中止 ■2020/3/20「学位記授与式」中止 ■2020/4/3「入学式」中止
■2020/6/14「第1回オープンキャンパス」中止 ■2020/8/1・2「第2回オープンキャンパス」中止

トピックス

連携ネットワーク会議を立ち上げました

本学では、2019年4月の公立化に合わせ、地域と大学をつなぐ「地域連携センター」を立ち上げました。同センターは、持続可能なまちづくりに向けて様々なステークホルダーと連携し、千歳市が抱える課題を抽出し、本学の研究・教育成果を活用することにより解決を図る「スマートネイチャーシティちとせ」構想(SNCちとせ構想)を推進する機関として活動を展開していきます。

同センターでは、2020年2月28日(金)、本学において「第1回連携ネットワーク会議」を開催し、本学の教育研究に関する知見を活用し

た連携事業や、構成団体による連携によって取り組む事業などについて意見交換が行われました。本ネットワークは、千歳市内における行政機関・高等教育機関・経済団体等が連携し、地域が抱える課題解決に向けて取り組むとともに、構成員相互の情報共有や協力により、地域社会の活性化や産業の振興などを図ることを目的として設立されました。千歳市をはじめ、以下の15団体から構成され、今後、構成員相互の情報交換・情報共有及び高等機関等による市民向け連携公開講座の開催などについて検討していきます。

■構成団体

行政機関(1団体):千歳市
教育機関(3機関):公立千歳科学技術大学、北海道千歳リハビリテーション大学、日本航空専門学校
経済団体(3団体):千歳商工会議所、千歳観光連盟、千歳青年会議所
地域団体(7団体):自然公園財団(支笏湖ビジターセンター)、千歳市社会福祉協議会、千歳青少年教育財団、千歳市町内会連合会、千歳市体育協会、ちとせ環境と緑の財団、国立公園支笏湖運営協議会
産学官連携推進団体(1団体):ホトニクスワールドコンソーシアム(PWC)



「オープンサイエンスパーク千歳」を開催しました

SNCちとせ事業の一環として、「オープンサイエンスパーク千歳」を開催しました。

■開催概要

日時	2020年1月17日(金) 17:00~20:00	日時	2020年3月21日(土) 11:00~17:00
場所	千歳タウンプラザ まちライブラリー	場所	さっぽろ創世スクエア SCARTSモール 歩道空間
テーマ	持続可能なパッケージング~科技大の取り組み~	テーマ	支笏湖デザインプロジェクトAR展示会
内容	2018年11月2日に、まちライブラリーにて開催したオープンサイエンスパーク千歳「パッケージング、資源回収、マイクロプラスチックから考える循環型経済」において抽出された課題解決にむけて、公立千歳科学技術大学において取り組んだ研究成果を報告しました。	内容	展示の部では「支笏湖デザインプロジェクト」の成果を会場展示とオンライン配信にて紹介し、講演の部では講演及びパネルディスカッションの模様をライブ配信。観光産業におけるAR技術のあり方、とりわけ、感染症などの非常事態発生時におけるリスク分散のツールとしての有効性を確認するとともに、今後の課題を抽出しました。

新型コロナウイルス感染症の影響に係る学生への経済的支援について

本学では、新型コロナウイルス感染症の影響によるオンライン授業実施に伴う学習環境の整備およびアルバイト先休業等による収入の減少等に対し、以下の2種類の経済的支援を実施しています。

(1) 緊急生活支援金給付

新型コロナウイルス感染症の影響により、オンライン授業受講に伴う通信環境整備、アルバイトの減少に伴う生活費の減少等、学生生活を送る上で収入の減少や出費の増加などの影響に対し、緊急生活支援金を給付します。

- ①給付対象者: 本学の学部生、大学院生で緊急生活支援金の給付を希望する学生(2020年5月1日時点での休学者を除く)
- ②給付金額: 自宅生 一人 30,000円 自宅外生 一人 50,000円

(2) 大学院生家計急変者対象授業料減免特別措置

新型コロナウイルス感染症の影響により、家計が急変し、経済的理由により授業料の納付が困難となった学生のうち、国が実施する「高等教育の修学支援新制度」の対象とならない大学院生を対象に、授業料を減免します。

- ①減免対象者: 新型コロナウイルス感染症の影響により、家計が急変した大学院生
- ②減免額: 授業料年額の「全額」、「3分の2」、「3分の1」のいずれかの額(家計の状況により決定する)

※経済的支援の詳細についてはホームページをご覧ください。

2019年度 部・サークル活動実績

硬式テニス部

- ・全日本大学対抗テニス王座決定試合 北海道地区予選第51回 北海道学生テニスリーグ参加 5部リーグ昇格

軟式野球部

- ・第26回春季リーグ戦大会 3部リーグ4位 3部残留
- ・新人戦大会 一回戦敗退
- ・第26回秋季リーグ戦大会 3部リーグ6位 4部降格

卓球部

- ・北海道春季学生卓球選手権大会 リーグ5位
- ・第89回全日本大学総合卓球選手権大会(団体の部) リーグ4位
- ・TSP杯争奪恵庭市団体卓球選手権大会 一般の部出場
- ・北海道秋季学生卓球選手権大会 団体の部 リーグ5位

バドミントン部

- ・第74回国民体育大会バドミントン競技会 成年男子シングルス 初戦敗退
- ・第68回北海道学生バドミントン選手権大会 兼第5回全日本学生ミックスダブルス選手権大会北海道予選会 男子シングルス 二回戦進出、初戦敗退 男子ダブルス 二回戦進出、初戦敗退 ミックスダブルス 初戦敗退
- ・第66回北海道学生バドミントン会長杯争奪選手権大会 初戦敗退
- ・第50回北海道学生バドミントン新人戦大会 男子団体 二回戦敗退 男子シングルス 初戦敗退

弓道部

- ・第66回全道学生弓道選手権大会 個人・団体共に予選敗退
- ・インカレ個人北海道地区予選大会 敗退
- ・第66回男子争覇戦(II・III部)団体出場 6位
- ・争覇戦入れ替え戦(III・IV部)III部残留

ストリートダンス部

- ・長島茂雄INVITATION セガサミーカップゴルフトーナメント ダンス枠パフォーマンス出場
- ・恵草祭 ショーケース ダンスパフォーマンス出場
- ・稜輝祭 パフォーマンス出場
- ・Supernovaパーティー vol.3バトル初戦敗退

YOSAKOIソーラン部

- ・第28回YOSAKOIソーラン祭り参加
- ・島松駐屯地創立67周年記念行事にて演舞披露
- ・千歳トーナメント2019「スカイピア&YOSAKOI祭」参加

- ・くりやま夏祭りにて演舞披露
- ・第19回胆振・千歳支部大会「YOSAKOIソーランinむろらん」参加
- ・恵庭わくわくフェスティバル参加
- ・千歳盆踊り大会参加
- ・YOSAKOIソーラン祭り道南大会参加
- ・胆振東部地震復興支援企画 YOSAKOIソーラン演舞会
- ・千歳・アンカレッジ市姉妹都市提携50周年記念式典にて演舞披露
- ・児童養護施設 天使の国 エンゼル祭にて演舞披露
- ・栗山天満宮秋季例大祭にて演舞披露
- ・白老八幡神社例大祭「大乱舞IN白老」にて演舞披露
- ・稜輝祭にて演舞披露
- ・NHK新BS1にぼんの歌にてバックダンサーをつとめる
- ・さっぽろ雪まつり つどい会場にて演舞披露
- ・第14回光と水のオブジェにて演舞披露

フットサル部

- ・2020コンサドーレ・エスポラーダカップ ～全道市町村サッカー・フットサル大会出場 予選敗退

軽音学部

- ・大学交流ライブ参加
- ・公立千歳科学技術大学稜輝祭にてライブ

男子バスケットボール部

- ・第71回北海道大学バスケットボール選手権大会 男子4部リーグ 準優勝
- ・第4回ウインターリーグ 男子Dリーグ5位

ライトアート工房

- ・第1回～第3回オープンキャンパスでの展示「クラヤミラボ」実施
- ・稜輝祭での展示「クラヤミラボ」実施

写真部

- ・“PHOTO IS”想いをつなぐ。50000人の写真展応募
- ・第14回 花と緑の写真コンテスト応募
- ・稜輝祭 写真展示及び開催風景撮影
- ・第14回 花と緑の写真コンテスト 一般部門 銅賞1名

理工工房

- ・恵庭子ども塾「おもしろ理科実験教室」参加
- ・北広島西高校大学見学対応
- ・あそびの日in千歳2019(日の出小学校)参加
- ・札幌日大高校SSH実験研修
- ・さっぽろ・子ども情報誌「あそび」取材対応 実験紹介
- ・札幌あすかぜ高校2年生見学対応
- ・さっぽろ水道フェスタ2019参加
- ・千歳市千歳小学校6年生 実験授業

- ・千歳市内児童館まつり参加
- ・千歳市立図書館 図書館祭り「科学実験教室」参加
- ・安平町早来中学校1年生 校外(大学訪問)学習対応
- ・恵庭市恵庭中学校3年生 大学訪問学習対応
- ・苫小牧市青翔中学校2年生 大学訪問学習対応
- ・千歳市緑小学校6年生 実験授業実施
- ・平取町びらとり義経塾 理科実験教室参加
- ・障がいのある方との懇談会
- ・石狩市子ども未来館あいぼーと科学実験教室参加
- ・千歳市民文化センター文化祭カルチャーミックス2019「子ども科学体験教室」参加
- ・キリンビールビアフェスティバル参加
- ・千歳市放課後子ども教室 千歳小学校参加
- ・東京美装 職場体験生(千歳高等支援学校1年生3名) 科学体験実施
- ・ふるさとポケット参加
- ・進路のミカタLIVE2019札幌会場 ワク! Work! 学校祭参加
- ・認定子ども園千歳春日保育園 科学実験体験実施
- ・認定子ども園ひまわり 科学実験体験実施
- ・札幌開成中等教育学校プレ先端科学特論実施
- ・認定子ども園つばさ 科学実験体験実施
- ・石狩管内教育研究会小学校理科部会二次研究協議会アトラクション参加
- ・旭川南高校1年生見学対応
- ・余市町宇宙記念館「宇宙ふれあいデイ」出張サイエンスショー参加
- ・文部科学省見学対応
- ・科学の祭典・千歳大会 参加
- ・追分高校2年生 大学見学対応
- ・千歳市緑小学校6年生 実験授業実施
- ・科学の祭典・北広島大会参加
- ・第4回恵庭ままつ「理科実験&理科工作体験コーナー」参加
- ・第10回仲の橋通り商店街ふゆまつり参加
- ・千歳道新文化センター親子科学教室参加
- ・札幌市青少年科学館「大学生による科学教室」

菜園サークル

- ・野菜の種まき
- ・第32回花いっぱいコンクール 花壇部門 中学校等の部 最優秀賞受賞
- ・花壇への花植
- ・稜輝祭にてカレー販売
- ・野菜収穫

FMac

- ・まちライブラリー@千歳タウンプラザにみんな集まらさる～出会いに感謝の1dayイベントに参加
- ・オープンサイエンスパークにて千歳バーガープロジェクト活動報告

就職・キャリア支援

「OB・OG対話」を開催しました

2019年12月17日(火)、2020年1月10日(金)に、本学にて「OB・OG対話」を開催しました。今年度は両日合わせ27社30名の卒業生にご協力いただきました。「OB・OG対話」は、これから就職活動を行う学生が、社会で活躍する本学のOB・OGと双方向で対話することにより、業界・仕事への理解を深め、就職活動に役立てることを目的としています。参加した学生からは、「業界の詳しい話を知れて新たなモチベーションになった」「就活に対する意識が高くなった」などの声が聞かれ、自身の就職活動や就職後の働き方などについて、改めて考えるきっかけになった様子が伺えました。



12月17日(火)にご参加頂いた皆様(企業名順)

- | | |
|------------------|-------------------|
| ■株式会社アルファシステムズ | ■株式会社ネクシス |
| ■医療システムズ株式会社 | ■富士電機株式会社 |
| ■NTTエレクトロニクス株式会社 | ■株式会社マースエンジニアリング |
| ■株式会社NTT 東日本-北海道 | ■株式会社マイナビ |
| ■株式会社三技協イオス | ■ミハル通信株式会社 |
| ■東テック北海道株式会社 | ■株式会社ミライト・テクノロジーズ |
| ■株式会社ドコモ CS 北海道 | ■株式会社ユニシス |

1月10日(金)にご参加頂いた皆様(企業名順)

- | | |
|----------------------|-------------------|
| ■株式会社A D E K A | ■日本通信エレクトロニック株式会社 |
| ■株式会社インサイトテクノロジー | ■株式会社日立製作所 |
| ■株式会社上田商会 | ■株式会社芙蓉ビデオエージェンシー |
| ■大井電気株式会社 | ■株式会社ブリッジ |
| ■長田電機工業株式会社 | ■北海道日興電気通信株式会社 |
| ■株式会社協和エクシオ | ■美和電気工業株式会社 |
| ■株式会社ジャパンテクニカルソフトウェア | |

学内業界研究セミナーを開催しました

2020年2月5日(水)、10日(月)、12日(水)~13(木)の4日間の日程で、本学体育館にて「学内業界研究セミナー」を開催し、期間中257社の企業にご参加いただきました。

本セミナーは、キャリア教育の一環として希望する業界・仕事について学生自身が研究し、これから迎える就職活動へ向け、ミスマッチがおきかないよう業界・仕事への理解を深めることを目的として実施しています。学生も最初は緊張した面持ちでしたが、各企業の採用担当者の方や本学出身の先輩社員などから様々なお話をしていただき、これから本番を向かえる就職活動に向け、意識が高まった様子でした。



求人数・就職率

■求人票数
(2020年3月31日現在)
701件

■2019年度卒業者の
進路状況
(2020年3月31日現在)

就職決定者 **135**名

就職率 **99.3%**

※就職率=就職決定者÷就職希望者

進路決定率 **93.8%**

※進路決定率=就職決定者数÷(全卒業者数-進路決定者数)

2019年度卒業者の進路状況

2019年度は就職活動の早期化が一段と進みましたが、そのような状況への的確な対応と支援により、早期に多くの学生が内定を獲得しました。早期に進路決定とならなかった学生についても粘り強く就職支援を行ったため、就職率・進路決定率ともに高い水準となりました。

●主な就職先 2019年度卒業者実績(五十音順)

■アイシン・ソフトウェア株式会社 ■株式会社ID ■株式会社I・TECソリューションズ ■株式会社アウトソーシングテクノロジー ■アクティブ株式会社 ■株式会社アシスト北海道 ■株式会社ADEKA ■阿部鋼材株式会社 ■株式会社アマダホールディングス ■株式会社あらた ■株式会社アルトナー ■株式会社アルファネット ■株式会社インサイトテクノロジー ■株式会社インターパーク ■株式会社インタラクティブ・コミュニケーション・デザイン ■株式会社上田コンクリート工業所 ■株式会社ウェブ東海 ■株式会社エイチ・アイ・ティ ■株式会社エイチ・エル・シー ■英和株式会社 ■株式会社AIS北海道 ■SOC株式会社 ■SBテクノロジー株式会社 ■株式会社エヌ・ティ・ティ・エムイー ■株式会社NTT 東日本-北海道 ■株式会社NTT 東日本-南関東 ■及川産業株式会社 ■オムロンフィールドエンジニアリング北海道株式会社 ■株式会社北弘電社 ■北見信用金庫 ■株式会社キムラ ■クオリサイトテクノロジー株式会社 ■釧路市役所 ■ゴールドバック株式会社 ■札幌市立中学校(期限付) ■札幌市立中学校(期限付) ■株式会社三技協イオス ■三友プラントサービス株式会社 ■ジャパンエレベーターサービスホールディングス株式会社 ■株式会社ジャパンテクニカルソフトウェア ■株式会社新和 ■株式会社スタッフサービスエンジニアリング ■セントラル警備保障株式会社 ■株式会社ソフトコム ■第一硝子株式会社 ■大和ステンレス工業株式会社 ■株式会社つうけん ■帝人メディカルテクノロジー株式会社 ■株式会社アータサービス ■株式会社テクノプロ テクノプロ・デザイン社 ■株式会社デザインネットワーク ■株式会社出村商店 ■東芝デジタルソリューションズ株式会社 ■東テック北海道株式会社 ■株式会社東和コンピュータマネジメント ■株式会社ドコモCS北海道 ■株式会社ニッセイコム ■日鉄テックスエンジ株式会社 ■日本貨物鉄道株式会社 ■日本ケーブル株式会社 ■日本コムシス株式会社 ■日本情報通信株式会社 ■日本リーテック株式会社 ■日本アイピーエム・ソリューション・サービス株式会社 ■日本コンピューターサイエンス株式会社 ■日本システムワープ株式会社 ■一般財団法人日本食品分析センター ■株式会社ニユートン ■株式会社ネクシス ■ネットソフト株式会社 ■ネットワークシステムズ株式会社 ■パイプHD株式会社 ■株式会社ハイマックス ■函館どつく株式会社 ■株式会社セップ ■株式会社FUJI ■富士インフォクス・ネット株式会社 ■株式会社富士通ソリューションズラボラトリ ■株式会社芙蓉ビデオエージェンシー ■株式会社プリンガ ■ヘルスケアータルソリューションズ株式会社 ■株式会社ホクスイ設計コンサル ■北海道紙管株式会社 ■北海道キョーマン株式会社 ■北海道教育委員会 ■北海道教育委員会(期限付) ■株式会社北海道クボタ ■北海道建設部建築局建築整備課 ■株式会社北海道中央牧場 ■株式会社マーキュリー ■株式会社マースエンジニアリング ■株式会社マルハニチロ北日本 ■三菱電機ビルテクノサービス株式会社 ■ミハル通信株式会社 ■美和電気工業株式会社 ■株式会社メイテックフィルダーズ ■ユニオンターシステム株式会社 ■横浜コム株式会社 ■陸上自衛隊 ■株式会社臨海[大学院進学] ■大阪大学大学院 ■公立千歳科学技術大学大学院 ■北海道大学大学院

コラム
第3回

地域連携センターについて

企業訪問による連携活動について

地域連携センターは本学の公立化に合わせて2019年4月、大学院棟1階に設置され、2019年度は技術コーディネーター2名による企業訪問・技術相談をはじめ、行政機関・市民団体などからたくさんの協力依頼がありました。下記に2019年度の活動の中から企業訪問による連携活動についてご報告いたします。

■コーディネーター紹介

氏名は高橋理(タカハシオサム)、経歴は日立北海セミコンダクタ株式会社及びミツミ電機株式会社でトータル37年半導体製造技術及び半導体プロセス開発を勤めました。業務ではこの「量産ものづくり」及び「開発」の経験を生かしたいと考えています。現在の趣味は釣り、特に秋のサケ釣りは毎週海に通っています。



コーディネーターによる企業訪問活動まとめ

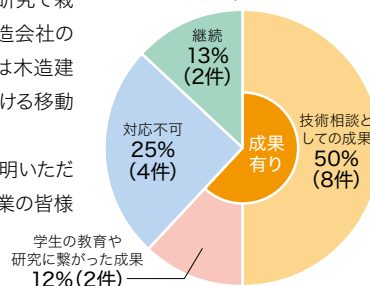
■2019年7月に採用いただき、本学の研究シーズ把握後の9月から企業訪問を始めました。初回訪問では大学の知を活用していただけるよう研究シーズ集及びナノテク(※1)資料の配布、地域連携センターの紹介を行い技術相談や共同研究等のニーズを伺ってきました。

■9月から3月までの企業訪問件数は初回訪問が56件、2回目以降の訪問も入れた累計は67件となります。この活動から合計16件の依頼をいただきました。依頼に対する成果まとめは図1に示しましたように教員に繋げる事ができた「成果有り」が技術相談としての成果8件、学生の教育や研究に繋がった成果2件の合計10件、「対応不可」が4件、「継続」が2件となりました。「対応不可」4件は企業ニーズと大学シーズがマッチングしないものや企業側の業務都合等によるものがありました。「成果有り」の主な事例として技術相談では、レストランの依頼から青木准教授の研究で栽培している太陽光を使わない野菜の活用、学生の教育に繋がった成果では、食品製造会社の依頼から曾我教授による千歳ハムプロジェクトの立上げ、「研究に繋がった成果」では木造建築物設計製造販売会社の依頼から下村教授、曾我教授、吉田教授による厳寒期における移動式仮設住宅の性能評価に関する研究などがあります。

■企業訪問では、事業内容の質問に対しても幹部の方や担当の方から非常に丁寧に説明いただきました。また工程見学させていただいた企業も多かったです。ご対応いただいた企業の皆様には大変感謝しております。今後も地域と本学が連携できるよう取り組んでいきます。

※1: ナノテクノロジープラットフォームの略

図1/16件の依頼に対する
対応成果まとめ



活動事例は本学ホームページをご参照ください。

公立千歳科学技術大学 地域連携センター

<https://snc.chitose.ac.jp/>

新入教員挨拶

世界に貢献できる 国際力と人間力

副学長／研究科長 教授 宮永 嘉一



全世界を巻き込んで、COVID-19という感染症があらゆる領域に大きな影響を与えています。医学、薬学、工学、理学の他、政治や経済学など、我々の持つすべての技術をもってしても、簡単には解決できない状況となっています。持続可能な世界を形成するため何をすべきか、

深く考えさせられます。本質は、世界に貢献できる国際力を有すること、そのための、高い知性とすぐれた人格を有する、世に有為なる人間力を育てることだと思います。本学の理念は、理工学の分野における卓越した人間力の実現であることであり、何が起るかかわからない、今後の世界に重要な人材育成であると強く感じます。今までは、自分の周りにはいる、様々な国の友人たちと、人工知能ロボットや省エネルギー無線システムなどの研究をしてきましたが、今後は、より広い、異分野の世界との連携も背景に、皆さんと一緒に、国際力と人間力を育ててゆきたいと考えています。

コロナ禍での着任と 教育研究開始に寄せて

情報システム工学科 教授 福田 浩



本年4月に情報システム工学科に着任致しました福田浩と申します。宜しく御願ひ申し上げます。今年は4月から通常通りの授業等が行えず、先輩の先生方、職員の皆様のご指導、ご協力の下、手探りで教育研究を進めているところです。皆様方が様々な創意工夫で非常事態を乗り切る姿勢を目の当たりにして、感心することばかりです。英知が結集している大学の本領を垣間見たと思っております。私自身は、奇しくも、学生に対しても自分自身に対しても、静かに向き合う時間を十分にとることができ、新鮮な発見とともに毎日を過ごしています。今は世界的かつ歴史的な転機にあると思いますが、大学の基本的な役割に大きな違いはなく、むしろ教育形態の多様化に向けてその役割は重要度を増すと信じています。今や日本の総生産の10%を担うようになった情報通信産業に優秀な人材を出し続けるとともに、北の大地から最先端の研究成果を創出することを目指します。

デジタルナレッジと グローバル思考で 世界にチャレンジ

特任教授 川名 典人



2020年1月に本学に着任致しました。専門領域は英語教授法と観光ICTです。前職の大学は英語教育で効果的な学びを研究しました。特にeラーニング、ブレンデッド・ラーニングでは、それに相応しい教室設計や授業手法を研究してきました。また、観光ICTでは遠隔地での観光情報発信のあり方を研究してきました。例えば、人型ロボット ペッパーを利用した“多言語によるおもてなし戦略”を世界自然遺産に登録された知床地区で実施しました。

本学では地域を知り、地域連携を深める「千歳学」や、SDGsにつながる「地域課題プロジェクト」、そしてグローバルに活躍するために必要な英語を鍛える「英語プレゼンテーションスキル」を担当いたします。本学では地域貢献とグローバル人材育成をキーワードに研究と教育で貢献したいと思っております。よろしく御願ひ致します。

水文学を基礎とした 教育研究の展開

応用化学生物学科 准教授 井手 淳一郎



4月に着任しました。これまで様々な場所に移り住んできましたが、北海道には初めて住みます。かつて北欧に住んだことがあるので、類似した環境かなと思っていましたら、北海道の方が生物多様性に富んでそうです。

これまで水文学を基礎として、森林の種類や管理が河川流域の水・

物質循環にどのような影響を及ぼすかを解明する研究を行ってきました。また、このような研究を通じて、フィールドワークを主体とした環境科学に関する教育を行ってきました。

私の専門分野では水・物質循環と生物との相互作用の解明だけでなく、人間活動がこの相互作用にどのように影響するか、また、環境に配慮して人間活動を持続するにはどうすればよいかを追求します。広大な北海道のフィールドを舞台に、学生の皆さんとともに環境に関する諸問題に取り組み、さらに、水・物質・エネルギーに関する地域課題の解決に貢献していきたいと考えています。よろしく御願ひ致します。

「ソフトウェアとは何か」を 学生と共に追求

情報システム工学科 准教授 萩原 茂樹



この3月に情報システム工学科に着任いたしました。以前は2017年まで東京工業大学で、2017年から今年の2月まで東北公益文科大学で、ソフトウェアや情報セキュリティの研究・教育に従事しておりました。特に形式手法と呼ばれる数学に基づいた手法を用いて、誤りや脆弱性のない安全なシステム(ソフトウェア、暗号プロトコル、業務プロセスなど)を構成する手法を研究しております。この研究は、「計算とは何か」「ソフトウェアとは何か」という極めて複雑なものの本質を捉えることにつながります。本学でも、数学やソフトウェア、そしてそれらのつながりに興味がある学生と共に、この研究を通じて、この本質的な問いの答えを見つけていきたいと考えています。皆様のお助けをいただきながら、これまでの経験をもとに研究・教育・地域貢献に精進いたします。どうぞよろしく御願ひいたします。

数学と科学技術

助教 本多 俊一



3月に共通教育に着任した本多俊一です。生まれてからずっと国道36号線の通る市町村に住んでおり、千歳市にはとても愛着があります。前職は北海道大学数理・データサイエンス教育研究センターで数理・データサイエンス教育の研究に従事していました。個人としては数学(特異点論の微分幾何学への応用)の研究をしています。

本学では数学科目およびデータ解析科目を担当します。数学およびデータ解析は諸科学を支える世界共通言語であり、今後の技術革新に対応出来る人材に求められる素養の一つです。数学科目およびデータ解析科目の教育を通して、次世代を担う技術者の育成に貢献していきたいと考えています。

また、(数学教員を目指す学生を含めた)数学を学びたい学生および数学に苦手意識のある学生などに対して、オフィスアワーや就学支援室を有効活用し、学生の皆さんと共に一所懸命努めていきたいと考えています。よろしく御願ひ致します。

新入職員挨拶



学生支援課 教務係
主事 犬飼 康二

2020年4月1日から公立千歳科学技術大学に採用になり、学生支援課教務係に配属となりました犬飼康二と申します。4年前までは室蘭工業大学で7年間ほど勤務していましたが、学生支援部門の業務に就くのは今回がはじめてとなります。まだまだ分からないことが多く、ご不便をおかけしますが、これから微力ながら本学の発展に貢献できるよう、精一杯務めてまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。



学生支援課 学生係
主事 香田 隼人

学生系の業務に従事しております。学生さんと関わりながら業務を行うことで、新鮮な日々を過ごしていると感じております。どの業務も学生目線に立つのを忘れずに、より良くできるものは新たにチャレンジしていきたいと考えています。今年度は新型コロナウイルスの影響により、例年に比べてイレギュラーな事が起こると思いますが、学生さんが安心して学生生活を過ごせるように精一杯努めて参りますので、よろしくお願いいたします。

入試情報

2021年度入試日程

試験種別	出願期間(消印有効)	試験日	合格発表	入学手続期間
一般選抜	前期日程 2021年 1月25日(月)~2月5日(金)	2021年 2月25日(木)	2021年 3月6日(土)	2021年 3月8日(月)~3月15日(月)
	公立大学* 中期日程 2021年 1月25日(月)~2月5日(金)	2021年 3月8日(月)	2021年 3月21日(日)	2021年 3月22日(月)~3月26日(金)
総合型選抜	2020年 9月15日(火)~9月23日(水)	本学HPまたは学生募集 要項を参照してください。	2020年 11月11日(水)	2020年 11月12日(木)~11月20日(金)
学校推薦型選抜 ・学校推薦型A (千歳地区) ・学校推薦型B (全国)	2020年 11月12日(木)~11月20日(金)	2020年 12月5日(土) 12月6日(日) ※出願者数により、 12月6日(日)の1日で 実施する場合があります。	2020年 12月16日(水)	2020年 12月17日(木)~12月25日(金)

*公立大学中期日程は、志願倍率により2段階選抜を実施する場合があります。2段階選抜を実施する場合、第1段階選抜の結果は2月23日(火)に発表します。

インターネット出願について

総合型選抜、学校推薦型選抜、一般選抜の出願はすべて「インターネット出願」で受け付けます。「インターネット出願」では願書を取り寄せる必要がなく、入学検定料をクレジットカードやコンビニ、金融機関ATM(ペイジー)でお支払いいただくことが可能です。

Web オープンキャンパスを 開催します

開催を予定していた第1回及び第2回オープンキャンパスは、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止する観点から中止となりました。ついては、高校生や保護者の方々に大学を知っていただく機会として、本学の学部・学科の特色や入試制度を紹介する『Webオープンキャンパス』を開催いたします。詳細については、本学ホームページをご覧ください。

法人情報

奨学金の寄附に深く感謝申し上げます

本学の教育活動、学生支援に対しまして、多大なるご理解とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。ご寄附いただいた皆様へ感謝の意を表し、ご芳名を掲載させていただきます。(敬称略、50音順)公表を希望されない寄附者様につきましては、「匿名希望〇名」という形で掲載させていただきました。今後とも、本学の教育研究活動、教育環境整備、学生支援に皆様からのご協力をいただきますようお願いいたします。

※本誌掲載内容は2020年3月1日から2020年4月30日までのものです。

寄附者ご芳名
(2020年3月1日から2020年4月30日まで)

愛山 功一 生川 靖人 川合 敏雄 木下 雅司
木下諒二郎 合同会社アコード221 筒井 貞本 康尚
鈴木 るり 正田 真琴 ほかに匿名希望の方7名

敬称略

ご寄附に関する詳細につきましては、
本学ホームページをご覧ください。

